

学校関係者評価報告書

東海医療科学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校 学校関係者評価委員会は「令和5年度 学校自己評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただきました。

I 令和6年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時

令和6年9月7日(土) 17:00～18:30

2. 会 場

リモート会議

3. 議 事

第1号議案 委員長の選任

第2号議案 令和6年度学校自己点検・評価表（中間評価）について

II 学校関係者評価委員、学校担当者

(1) 委員 学校関係者評価委員

学科	構成	氏名	所属
臨床工学	卒業生父兄	齋藤 友久	医療法人仁聖会 碧南クリニック
臨床工学 看護科	企業等委員 卒業生父兄	林屋 裕二	医療法人聡彩会 こどもゆめクリニック
臨床工学	企業等委員 卒業生	山田 賢太郎	医療法人愛誠会 ゆりクリニック名古屋東
理学療法	企業等委員	池野 倫弘	愛知県理学療法士会
言語聴覚	企業等委員 卒業生	富田 彰	医療法人羊蹄会 ようてい健康増進クリニック
作業療法	企業等委員 卒業生	坂上 隼大	リーベグループ株式会社
柔道整復	企業等委員 卒業生	加納 崇希	わかたリハビリデイサービス
社会福祉	企業等委員	知久 能之	社会福祉法人さつき福祉会

(2) 担当教職員一覧

氏名	所属・職名
藪本 恭明	東海医療科学専門学校 校長
大竹 有二	東海医療科学専門学校 校長代理、教学部長
太田 晃二	学校法人セムイ学園 法人本部 総務部長
田中 敏彦	東海医療科学専門学校 教学部長補佐、作業療法科 学科長
中村 新一	東海医療科学専門学校 教学部長補佐、臨床工学科 学科長
三輪 文昭	東海医療科学専門学校 教学部長補佐

Ⅲ 学校関係者評価委員による意見、提言等

<p>基準1 「教育理念・目的」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・目的を明確にし、ホームページやスチューデントマニュアルにもしっかり明記されていることが確認できました。またクレドの策定により具体的な指針が示されていることが確認できました。 ・自己評価でも点数が上がっておりますので、今後のミッション実現に向けてさらなる教育理念・クレドの浸透に努めていただきたいと思います。
<p>基準2 「学校運営」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の運営方針についてはトップダウンではなくスタッフ、関係者等の意見を取り入れられて運営されています。 ・教職員の研修、情報交換等に費やす時間があまり無いように感じられるので先生方のメンタルケアも必要です。
<p>基準3 「教育活動」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目的、方針については学校としてしっかりとしたものをもって教育されていると感じられている。 ・ポリシーの認知度が低いと感じられているとのことだが、各科の教員間での風通しの良さがあれば結果として浸透していくと思われる。現状の教員の言動から何らは不安を感じ得ない。 ・講義の評価として、各科で様々な対応を行っていると思われるが、引き続き外部からの情報を広く集め日々更新して試験対策に取り入れていって下さい。
<p>基準4 「学修成果・教育成果」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一番の目標である国家試験に関しては非常に良い合格率となっており、学修・教育の成果として立派なものだと思います。 それだけに卒業後の学校との繋がりが希薄になってしまうのはもったいないと思います。校内の施設・設備が良いのでそれらを使ったセミナーの開催だけでなく、セミナー中の様子などわかりやすいように SNS 等で発信していけると良いと思います。
<p>基準5 「学生支援」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の評価であるが、まず、主に精神的なサポートとして学生支援室があり、LINE で気軽に申込ができること。就職面についても、キャリアコンサルタントによる支援体制が整っていること。以上の点については大変良い。残念ながら5年度期末に比べて、6年度中間評価では(3. やや不適切)項目が増えているが、今後はこの両者を学生様がフル活用して、貴校の自己評価が再び(適切)になることを期待したい。同時に、次の会議以降では両者の支援実績について、学生様情報の守秘義務を十分に確保できる範囲で、評価委員内での情報共有が望ましいと考える。
<p>基準6 「教育環境」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい所まで災害対策がされているなど感じています。 ・大地震発生時のライフラインが使えない状態での学校生徒の安否確認等を保護者並に身元保証人(緊急連絡先)にどのように行うかは明確にしておくとういことだと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> 改善案としては災害用伝言ダイヤル（171）、Google パーソnf ァインダー、LINE 安否確認など、電話等のライフラインが使えない場合に使用できるツール、もしくは「東海医療に在学中の災害発生時は必ずこの場所に避難します」などの事前周知を改善案として挙げさせていただきます。
<p>基準7 「学生の受入れ 募集」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学生受け入れは入学者選抜も適切に行われているようですし、学納金は他校と比較しても兼価であると思われます。 <p>学生の受入れは 18 歳人口が減少している中、大学にも入学しやすくなってきて専門学校への志願者が減少しているようなので、確かに学生の確保は難しくなっていると思います。</p> <p>学校説明会等による情報提供や、学校案内等の選抜方法の明示について、情報提供などをさらに強化していただきたいと思います。</p>
<p>基準8 「教育の内部質 保証システム」</p>	<p>内部監査組織が教職員の兼務にて構成されていることについて、監査業務に一定の投下時間を確保できる仕組みの構築が必要と思われるので、この業務を『組織の重要タスク』と位置付けた上で、より機能する組織体制の具体化及び業務手順の確立を望みます。</p>
<p>基準9 「財務」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営状態は公表されて外部の監査も取り入れていますので良いと思います。 将来的な予算計算も考慮されて計画的な運営をされ、無駄を省くように経費削減されています。企業全体で努力されています。 安定した収入を得るためにやはり入学生の確保が重要ですが学校任せではなく各企業、医療機関、卒業生の協力が必要だと感じます。
<p>基準10 「社会貢献・地 域貢献」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高校へのアプローチはなかなか厳しいとは思いますが、小中学校への取り組みとして医療機器体験は良いと思う。体験を通じてマイナーライセンスを知らしめて職業の選択肢に入るように誘導できたらと思います。

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署においてこれを踏まえ改善策を検討するものとする。